

卒業生の教育目標達成に関する調査結果 報告書

令和5年度(2024年3月卒業)

— 目次 —

1. 調査概要	2
2. 卒業生アンケート分析結果	3
(1) 所属分野	4
(2) 教育目標の達成状況	5
(3) 人文学部の教育内容等に関する評価	8
(4) 在籍中に経験したことと取得した資格	11
(5) リモート授業・ICT環境の評価	13

1.調査概要

本報告書について

信州大学人文学部における教育活動を振り返り、次年度以降の教育活動の改善を行う際の参考資料とするため、令和5年度(2024年3月)卒業の人文学部生を対象にアンケートを実施した。

本報告書はこれらアンケートの結果について示すものである。

卒業生アンケートについて

調査方法： 令和5年度の信州大学人文学部卒業生を対象に、卒業証書の手交および郵送の機会に調査票を配布し、回収した。

調査期間： 令和6年3月21日～3月31日

回収数： 123件 回収率：89.8% (123人/137人)

調査項目： ・所属分野

- ・人文学部の教育目標に対する達成状況の評価
- ・人文学部での学習・生活全般に対する評価
- ・人文学部に在籍中に経験したことや取得した資格
- ・受けた教育や獲得した能力と進路選択への影響
- ・卒業論文執筆についての感想
- ・人文学部の教育方針・体制・学習環境についての感想
- ・リモート授業の評価と今後の実施回数
- ・人文学部のICT環境の評価

分析に関する注意事項について

①過去の調査との比較について

卒業生アンケートにおいて、昨年度の調査と同様に経年での変化を見るため、必要な項目について過去4年(本年度含め5年)に行った結果についても記載した。

・過去年度回収数 R1年度：116件 R2年度：79件 R3年度：31件 R4年度：108件

②所属分野別の分析について

所属分野による回答結果の差を見るため、所属分野を以下の3つのグループに分類し、教育目標の達成状況および人文学部での学習・生活全般に関する評価についてそれぞれ分析を行った。

グループ	所属分野
哲学芸術系	哲学・思想論、芸術コミュニケーション
社会心理学系	文化情報論、社会学 心理学・社会心理学
語学歴史系	西洋史、東洋史、日本史 比較文学、西洋古典学 中国語学・中国文学、ドイツ語学・ドイツ文学 フランス語学・フランス文学、英語学、英米文学 日本文学、日本語学、日本語教育学

③その他

小数点第二位を四捨五入しているため、合計値は100%にならない場合がある。

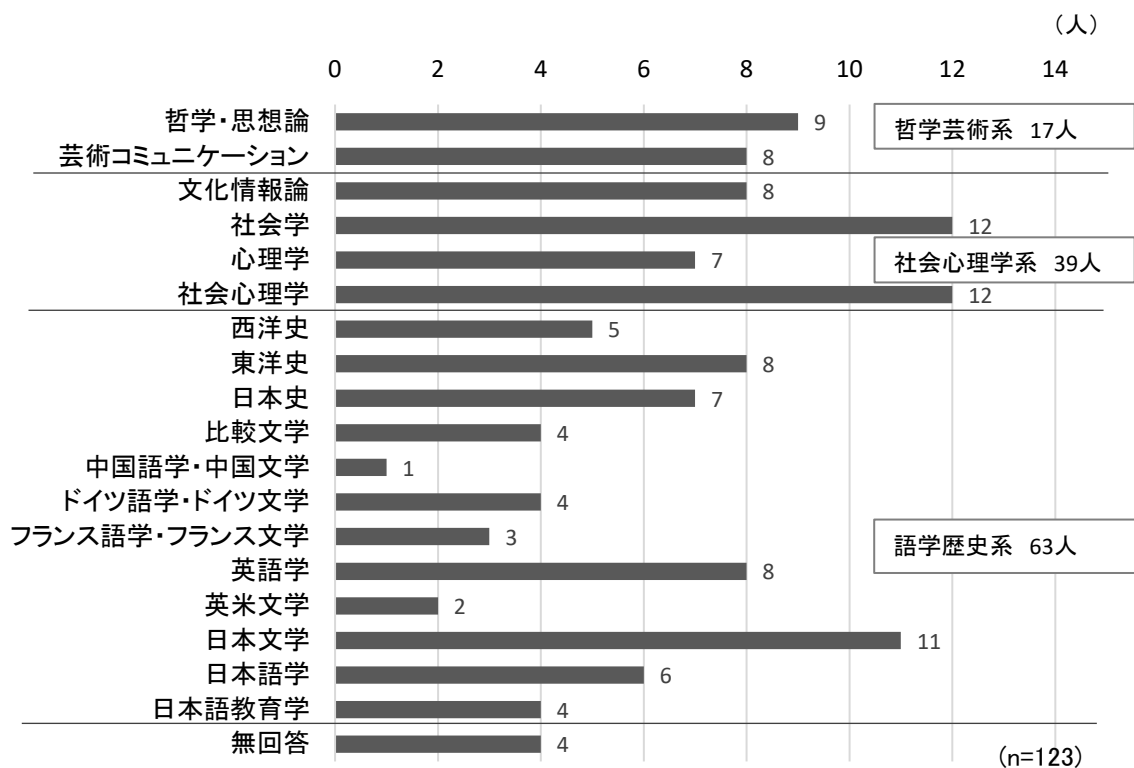
2. 卒業生アンケート分析結果

（１）所属分野

所属分野

質問番号１：あなたの所属分野をお答えください。 《単数回答》

- 回答者の所属分野は、「哲学芸術系」が17人、「社会心理学系」が39人、「語学歴史系」は63人となっている。

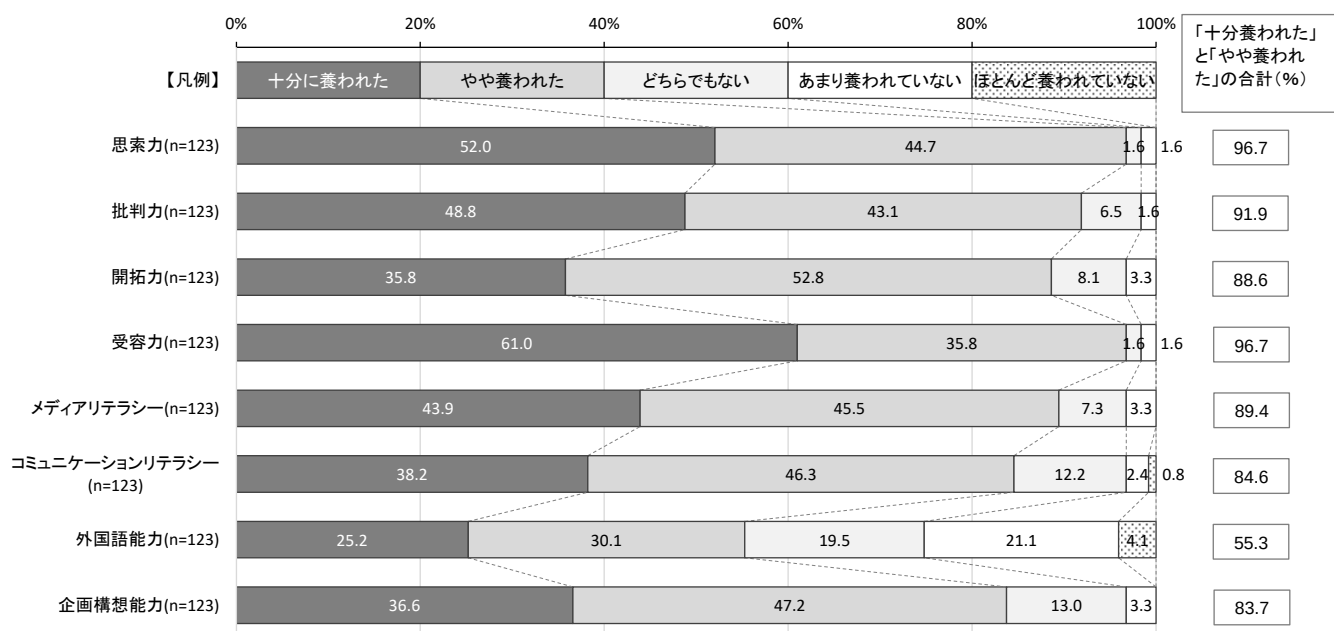


(2) 教育目標の達成状況

教育目標の達成状況

質問番号2：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。
《単数回答》

- 人文学部の教育目標について、「十分に養われた」「やや養われた」を合わせた割合は、「思索力」と「受容力」において96.7%と最も高くなっている。一方、「外国語能力」においては、55.3%と最も低くなっている。



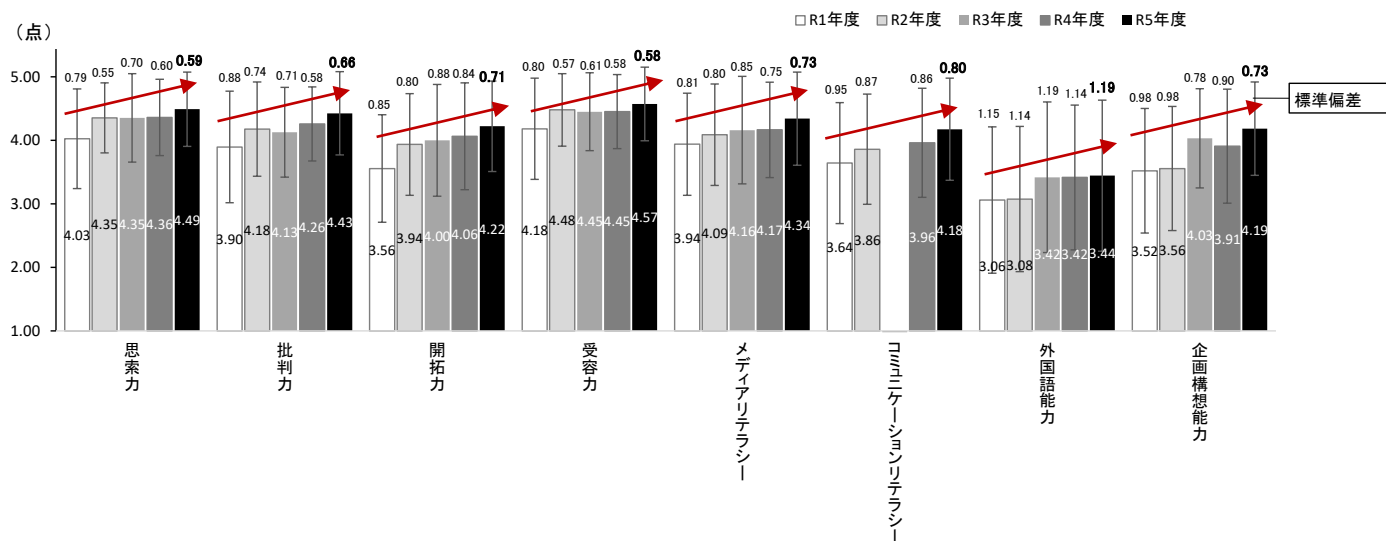
アンケート上の表現との対応

- ・思索力：自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力
- ・批判力：変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力
- ・開拓力：過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力
- ・受容力：異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力
- ・メディアリテラシー：情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー
- ・コミュニケーションリテラシー：自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー
- ・外国語能力：グローバル社会において、多様な文化を理解し自らの文化を発信できる外国語能力
- ・企画構想能力：領域横断的な事柄に対する問題解決能力、および創造的な企画構想能力

教育目標の達成状況 《得点化》《過年度比較》

質問番号2：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。
《単数回答》

- すべての項目において、「十分に養われた」を満点とする得点は上昇傾向にある。



※「十分に養われた」を5点、「やや養われた」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり養われていない」を2点、「ほとんど養われていない」を1点として得点化した。

※R3年度では「コミュニケーションリテラシー」について聞いていないため、得点を示していない。

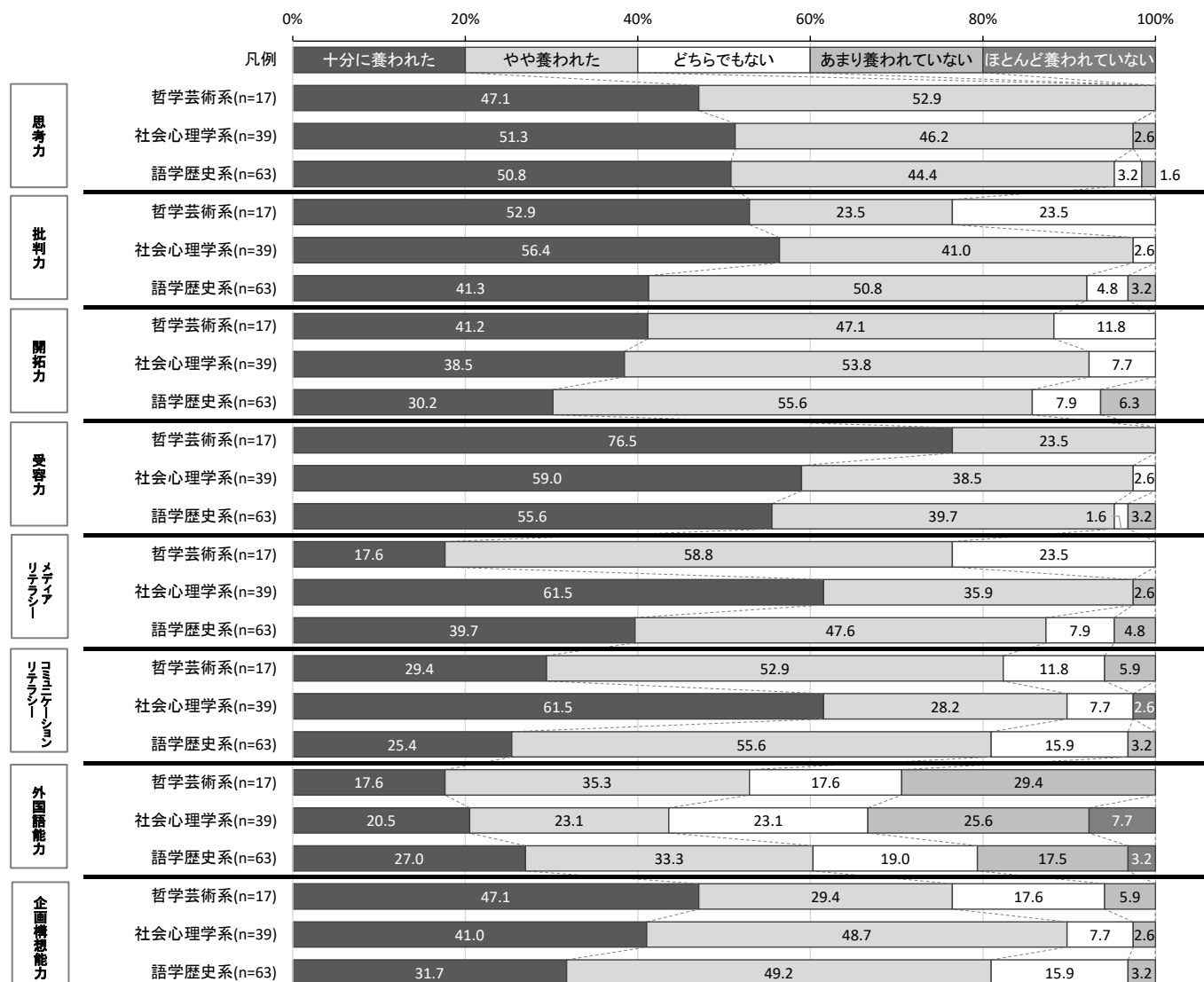
所属分野ごとの教育目標の達成状況 《クロス集計》

質問番号1：あなたの所属分野をお答えください。 《単数回答》

質問番号2：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。

《単数回答》

- 人文学部の教育目標について、「十分に養われた」と回答した割合を所属コース別に比較すると、「哲学芸術系」は、「受容力」「企画構想能力」が3分野の中で主に高くなっている。一方で、「メディアリテラシー」は特に低くなっている。
- 「社会心理学系」は、「メディアリテラシー」「コミュニケーションリテラシー」が3分野の中で主に高くなっている。
- 「語学歴史系」は「外国語能力」が3分野の中で主に高くなっているが、大きく差がついているとは言えない。「批判力」は特に低くなっている。

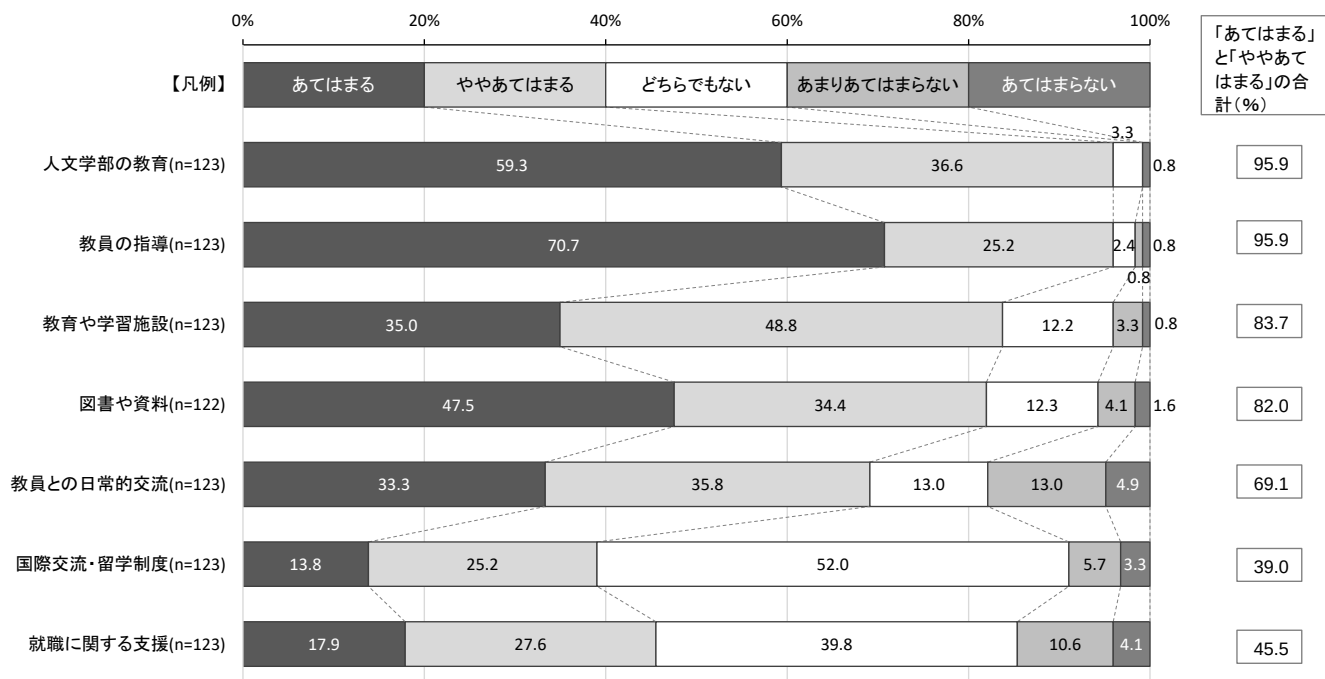


(3) 人文学部の教育内容等に関する評価

人文学部の教育内容等に関する評価

質問番号3：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。《単数回答》

- 人文学部の教育内容等に関する評価に関して、「あてはまる」「ややあてはまる」の割合の合計をみると、「人文学部の教育」「教員の指導」が95.9%と最も高くなっている。一方、「国際交流・留学制度」の評価は39.0%と最も低く、次いで「就職に関する支援」が45.5%となっている。



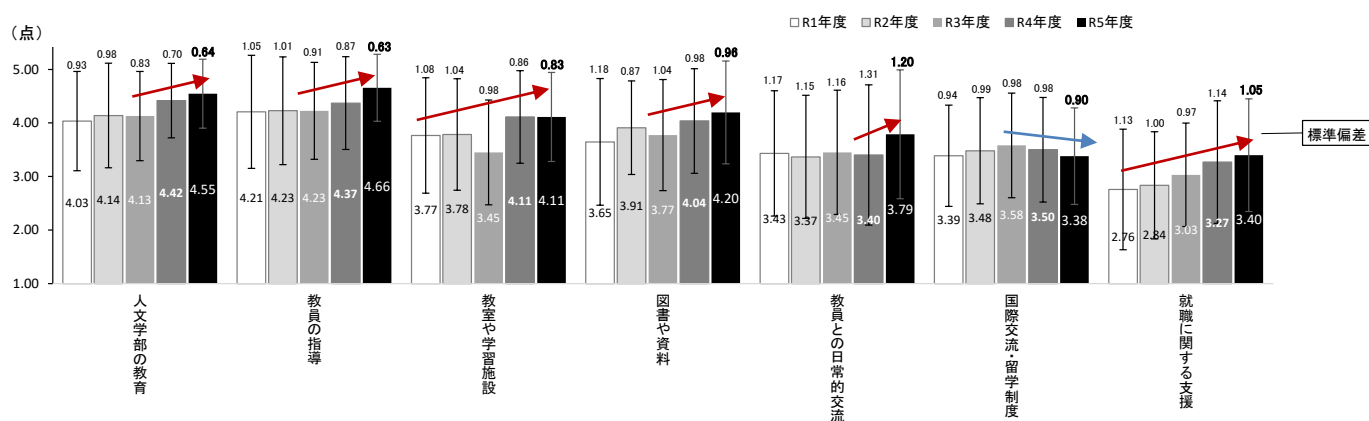
アンケート上の表現との対応

- ・人文学部の教育：人文学部の教育に満足できた
- ・教員の指導：教員の指導は十分であった
- ・教育や学習施設：教育や学習施設に満足できた
- ・図書や資料：図書や資料に満足できた
- ・教員との日常的交流：教員との日常的交流があった
- ・国際交流・留学制度：国際交流・留学制度は充実していた
- ・就職に関する支援：就職に関する支援に満足できた

人文学部の教育内容等に関する評価 《得点化》《経年比較》

質問番号3：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。《単数回答》

- 「あてはまる」を満点とする得点は、「国際交流・留学制度」を除くすべての項目において上昇傾向にある。「国際交流・留学制度」は、令和3年度以降下落傾向にある。
- 本年度の卒業生は、多くは令和2年度入学と想定される。令和2年4月の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言から、令和5年5月の同感染症の5類感染症への移行までの期間は、在学の殆どの時期に相当(平成31年度入学-令和3年度卒業であれば約2年、令和元年度入学-令和4年度卒業生であれば約3年)しており、特に、海外への渡航を伴う「国際交流・留学制度」に影響を及ぼした可能性がある。



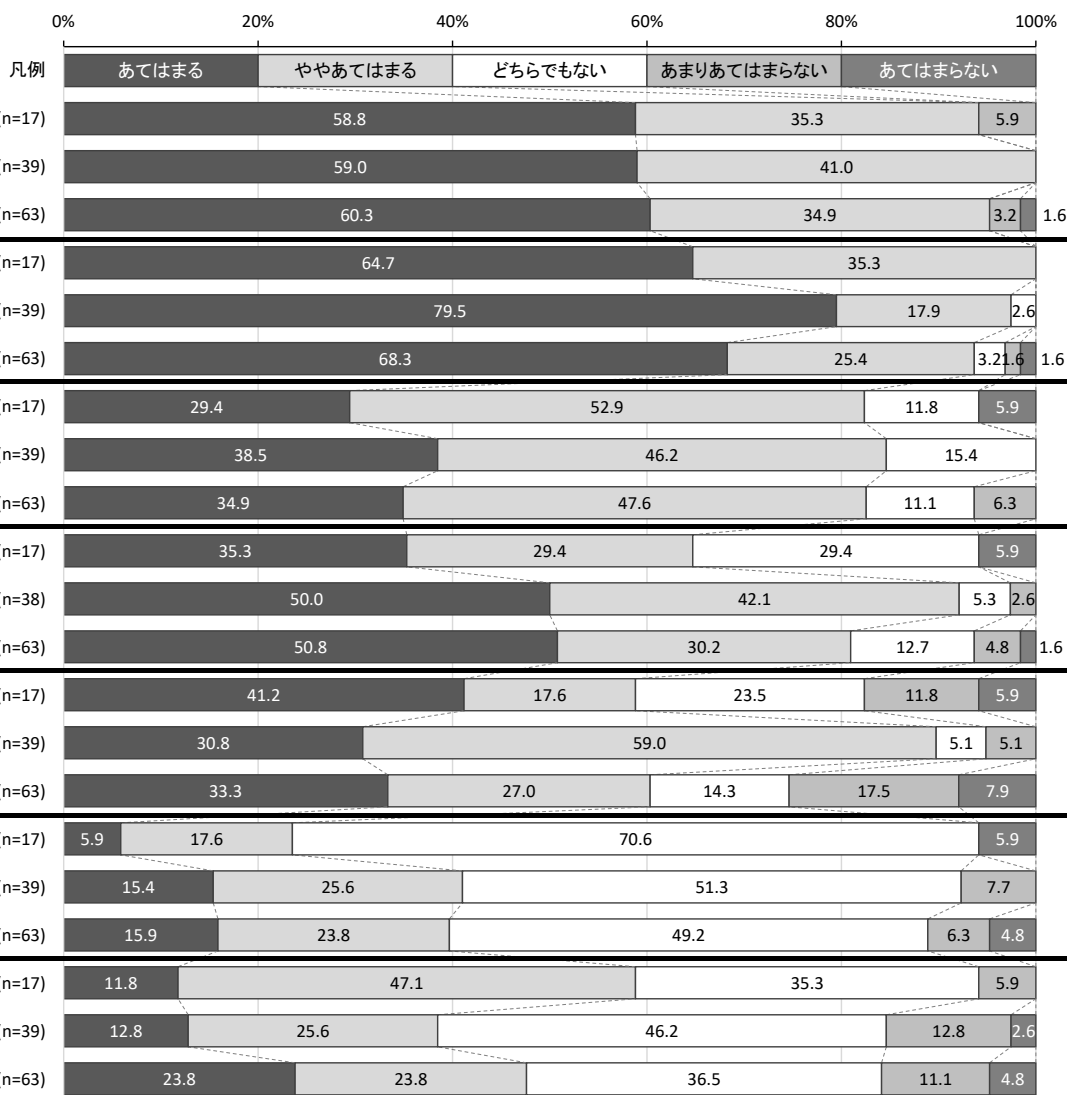
※「あてはまる」を5点、「ややあてはまる」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点として得点化し、この平均点と、標準偏差に注目して分析を行なった。

所属分野ごとの教育目標の達成状況 《クロス集計》

質問番号1：あなたの所属分野をお答えください。 《単数回答》

質問番号3：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。 《単数回答》

- 人文学部の教育内容等に関する評価について「あてはまる」と回答した割合を所属コース別に比較すると、「哲学芸術系」は「教員との日常的交流」が他の分野と比べてやや高くなっている。一方で、「図書や資料」、「国際交流・留学制度」は特に低くなっている。
- 「社会心理学系」は「教員の指導」が他の分野と比べて主に高くなっている。
- 「語学歴史系」は「就職に関する支援」が他の分野と比べて主に高くなっている。



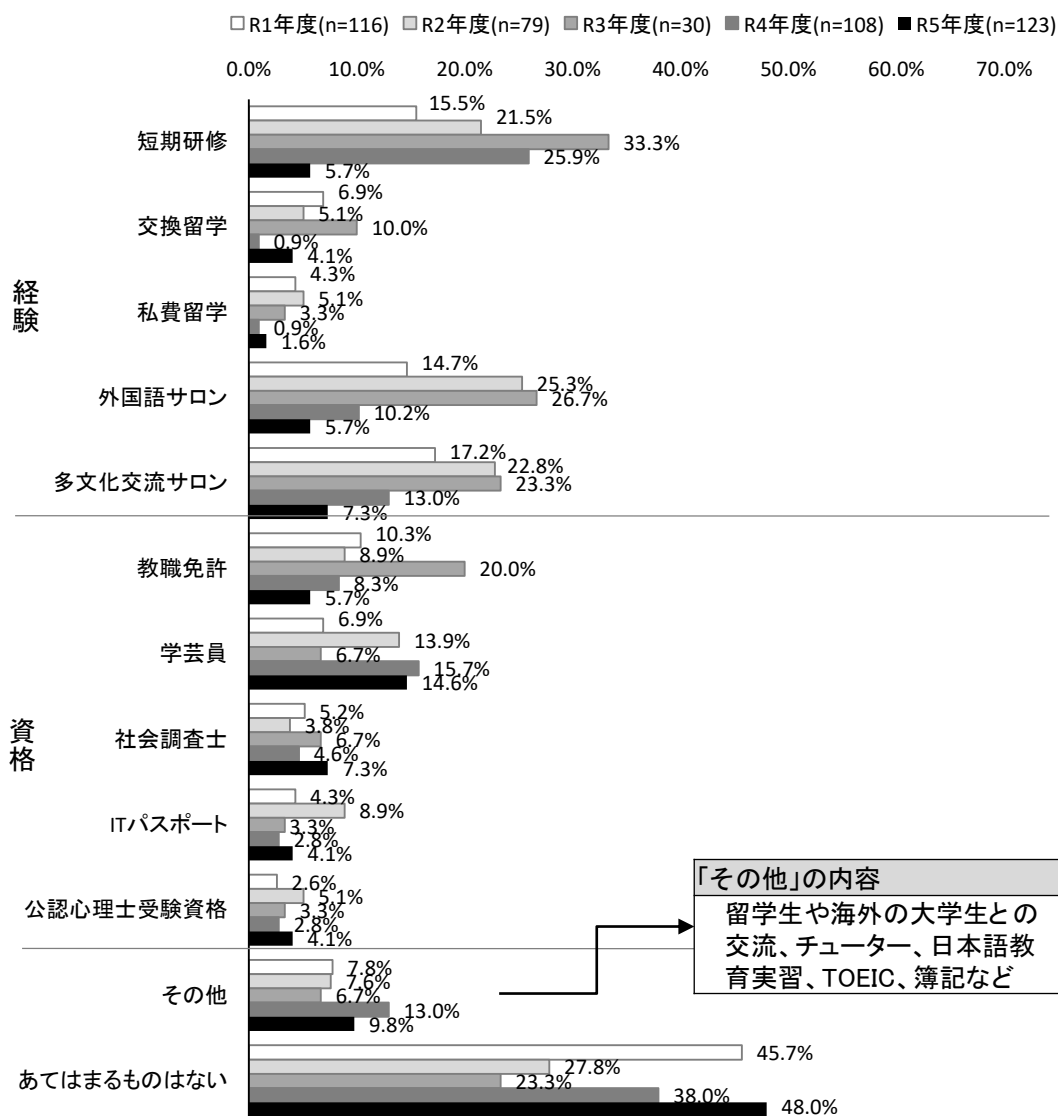
(4) 在籍中に経験したことと取得した資格

在籍中に経験したことと取得した資格 《経年比較》

質問番号4：人文学部に在籍中、あなたが経験した国際交流・留学はありましたか。 《複数回答》

質問番号5：人文学部に在籍中、あなたが取得した資格はありましたか。 《複数回答》

- 経験した国際交流・留学では、「短期研修」及び海外への渡航を伴わないと想定される「外国語サロン」「多文化交流サロン」が、令和3年度以降下落傾向にある。「交換留学」「私費留学」については、令和4年度から増加した。
- 取得した資格では「学芸員」が14.6%と最も高くなっている。一方で「教員免許」は直近の5年間で最も低くなっている。
- 在籍中に何らかの経験や、取得した資格が「ない」とする学生は48.0%であり、令和3年度を底に増加基調であり、直近の5年間で最も高くなっている。



所属分野ごとの在籍中に経験したことと取得した資格 《クロス集計・経年比較》

質問番号1：あなたの所属分野をお答えください。 《単数回答》

質問番号4：人文学部に在籍中、あなたが経験した国際交流・留学はありましたか。 《複数回答》

質問番号5：人文学部に在籍中、あなたが取得した資格はありましたか。 《複数回答》

- ・ 在籍中に国際交流などを経験した割合は、「語学歴史系」が33.3%と最も高くなっている。令和4年度と比べると、いずれの分野においても減少したが、特に「社会心理学系」は18.2ポイント減少した。
- ・ 在籍中に資格を取得した割合は「社会心理学系」が41.0%と最も高くなっている。令和4年度と比べると、「哲学芸術系」が18.8ポイント減少し、「社会心理学系」と「語学歴史系」は大きな変動が無い。
- ・ 「どちらもしていない」とする割合は、「哲学芸術系」が64.7%と最も高くなっている。令和4年度と比べると、「哲学芸術系」において10.2ポイント増加し、「社会心理学系」と「語学歴史系」は大きな変動が無い。

「経験した」、「取得した」、「どちらもしていない」と回答した割合(%)

		在籍中に国際 交流などを経 験した	在籍中に資格 を取得した	どちらもして いない
哲学芸術系	R4(n=11)	 27.3	 36.4	 54.5
	R5(n=17)	 17.6	 17.6	 64.7
社会心理学系	R4(n=29)	 31.0	 37.9	 44.8
	R5(n=39)	 12.8	 41.0	 48.7
語学歴史系	R4(n=61)	 42.6	 32.8	 37.7
	R5(n=63)	 33.3	 34.9	 34.9

(5) リモート授業・ICT環境の評価

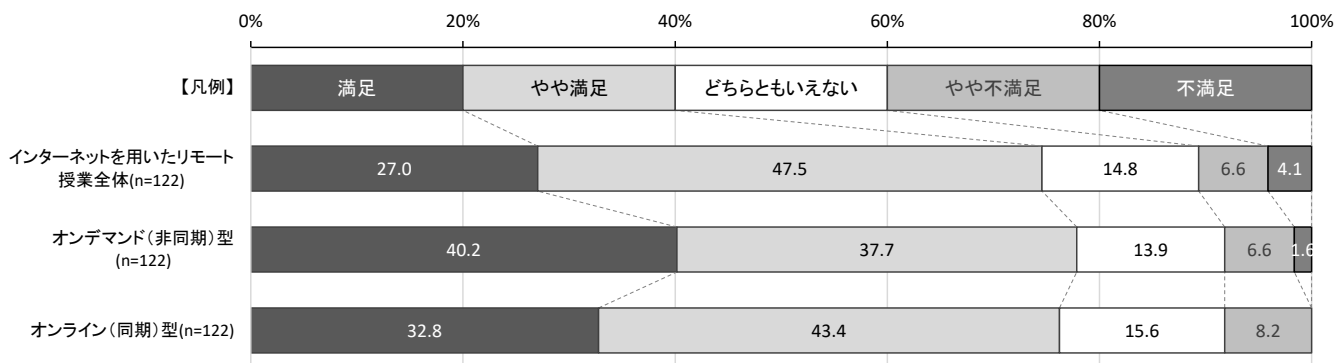
リモート授業の評価

質問番号9：在学中に受講した人文学部のインターネットを用いたリモート授業について、全体としてあなたはどのくらい満足していますか 《単数回答》

質問番号10：在学中に受講した人文学部のリモート授業のうち、オンデマンド（非同期）型について、あなたはどのくらい満足していますか 《単数回答》

質問番号11：在学中に受講した人文学部のリモート授業のうち、オンライン（同期）型について、あなたはどのくらい満足していますか 《単数回答》

- 在学中に受講したリモート授業全体の評価をみると、「満足」「やや満足」の割合は74.6%となっている。
- なお、オンデマンド（非同期）型の「満足」「やや満足」の割合は77.9%、オンライン（同期）型は76.2%とほぼ同じ評価となっている。「満足」の割合はオンデマンド（非同期）型がオンライン（同期）型に比べて7.4%高くなっている。



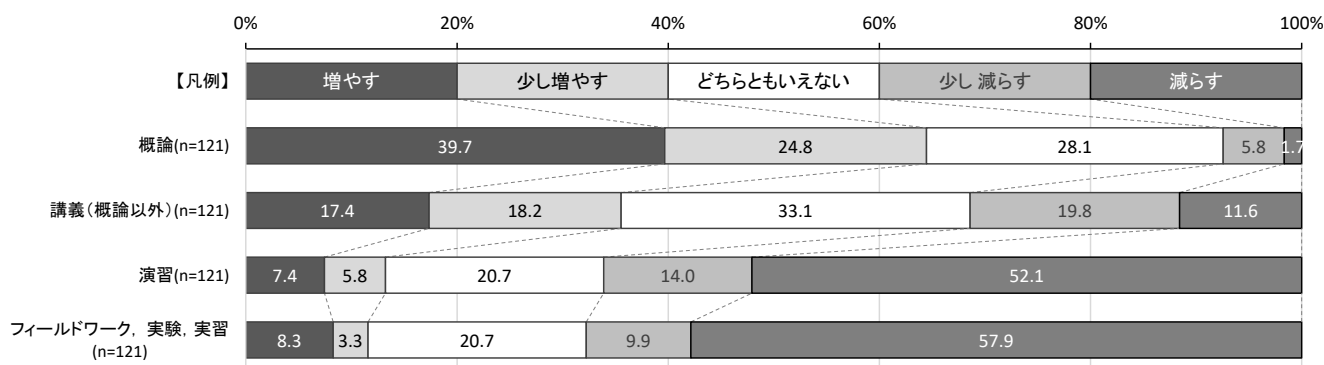
今後のリモート授業の回数

質問番号12：人文学部の以下の科目に対して、あなたは、オンデマンド（非同期）型を、今後、増やした方がよいと思いますか。それとも、減らした方がよいと思いますか。 《単数回答》

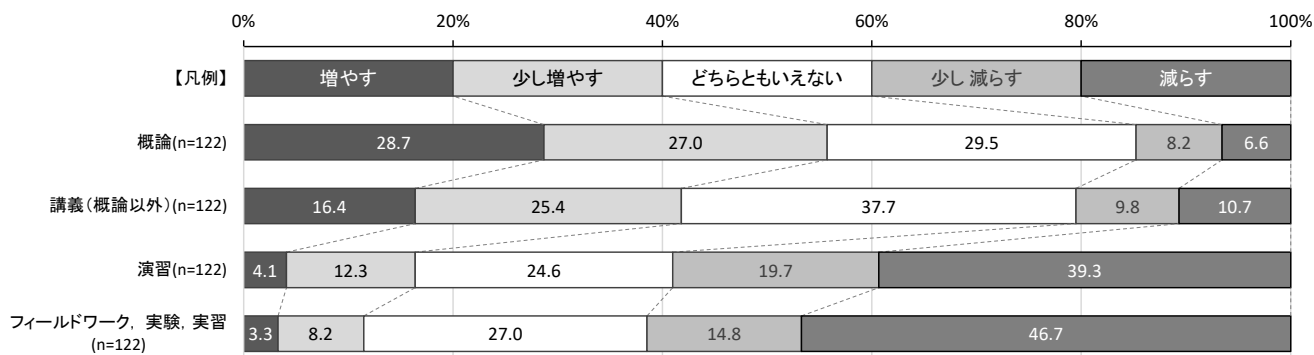
質問番号13：人文学部の以下の科目に対して、あなたは、オンライン（同期）型を、今後、増やした方がよいと思いますか。それとも、減らした方がよいと思いますか。 《単数回答》

- 今後のオンデマンド（非同期）型の授業の回数について、「増やす」「少し増やす」を合わせた割合は、「概論」で最も高く、64.5%である。
- オンライン（同期）型の授業の回数についても、「概論」を「増やす」「少し増やす」と回答する割合が55.7%と最も高いが、オンデマンド（非同期）型と比べると低い。
- なお、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型ともに「演習」「フィールドワーク、実験、実習」を「少し減らす」「減らす」と回答する割合が半数以上となっている。

オンデマンド（非同期）型



オンライン（同期）型



人文学部のICT環境への満足度

質問番号15：人文学部のICT環境（Wi-Fiなどのインターネット環境を含む）について、満足度をお聞かせください。
《単一回答》

- 人文学部のICT環境についての満足度は、「満足」「やや満足」と回答する割合は合わせて47.1%である。令和4年度と比較すると大きな変化はない。

